



検索

ニュースカテゴリー

## ちょっと違った「サ高住」をつくりましたが.....

あとで読む

【尊厳ある介護(26)】新しい施設作り、老後の選択肢を広げる

公開日：2018/01/10 (未分類)

里村 佳子 (社会福祉法人呉ハレルヤ会呉ベタニアホーム統括施設長)

介護施設に入所すると、24時間365日と切れ目のない介護が提供され、体調や栄養の管理もされているので安心です。特に家族は喜びます。持病があつたりすればご本人も安心感が得られやすい面があります。

しかし、自由に外出、外泊はできません。医師、看護師、介護スタッフなどの対応に不満があつても変えることはできません。食事は、施設から出されるものを、決まった時間に食べなければなりません。入浴回数も時間も決められているところが殆どです。

利用者にとっては、どうしても制限のある生活になってしまいます。介護を必要とする人が、安全に生きたいと願うのは当然ですが、そのために自分のペースで生活することをあきらめなくてはならないのは、やるせないことです。介護施設への入居に抵抗感がある人は、案外多いのではないのでしょうか。

そこで、介護施設ほどには縛られず、いろんな選択肢があつて自由度が高い新しい施設サービスを創れないかと強く思うようになりました。そんな思いをビジョンにして、一般的なサービス付き高齢者向け住宅(サ高住)より自由なサ高住を、平成25年に広島県呉市にオープンしました。

何らかの支援を必要とする高齢者が、自分らしく生活できる住宅にするためには、介護サービスはやはり必須です。



新しいサ高住の外観=里村氏提供

そこで、1階に、事務所、カフェ、居宅介護支援事業所、地域相談センター、2階に、グループホーム、認知症対応型デイサービス、ヘルパーステーション、を設置しました。3、4、5階をサ高住にしました。サ高住の入居者は、自室で1階から来る居宅介護支援事業所のスタッフのサービスを受けられますし、昼間は2階のデイサービスに来ることもできます。

このサ高住の入居者は、介護施設や一般的なサ高住とは違って、外出、外泊は自由です。協力病院もありますが、入居者がそれまでのかかりつけの医師の受診を希望するなら、それもできます。

食事は、1階のレストランで1食から食べられます。調理がしたいときは、居室のIHキッチンで作ることもできます。居室に浴室があるので、好きな時間に入れます。1人で入るのに不安があれば、ヘルパーの介助で入浴をすることもできます。

デイサービス、訪問介護、ショートスティなどの介護サービスも、施設内だけでなく外部のお好みの事業所を選択することができます。

困ったことがあれば、生活支援員がいるので相談にのれます。1日1回の安否確認を無料で行うので、居室で倒れて発見が遅れるリスクは軽減します。体調が急変した時は、緊急通報装置を押せば、昼間は生活支援員が、夜間はセキュリティ会社のスタッフが対応します。組み合わせれば、介護施設に見劣りしないサービスが受けられますが、選択ができ、自由度が高いのです。

費用面も、なるべく負担にならないように、入居一時金などは頂かず敷金のみにしました。

ところが、常時介護のスタッフがいないことに違和感を持たれた方が少なくありませんでした。見学会を開催した時、「常時介護スタッフがいないので、重度の要介護者は入居できないではないか」と言ったご意見を随分いただきました。

特別養護老人ホームなどの施設をイメージして来られた見学者のなかには、落胆して帰られる方もいらしたのです。多くのサ高住も、特定施設入居者生活介護の指定を受けた常時介護付き施設です。

実は、そうした方が事業者側にも有利です。入居者の確保が比較的容易ですし、サービスも自分たちのところを使ってもらえるので、経営が安定します。

しかし、それでは、自由度の高いサ高住を中心に、これまでにない新しいサービスを創造するといった初めの思いから離れてしまいます。悩みながらも、ぶれないで初志を貫徹することをスタッフと再確認しました。

新しいビジョンに沿ったサービス内容は、ケアマネジャー、利用者、家族になかなか認知していただかず、サ高住が満室になるのには1年かかりました。安心と安全面だけを求めると、既存の施設の方が優れていることが、一因だったように思います。

その後、車椅子、透析、認知症、要介護4の方など重度な介護が必要な方も入居され、見学会の時の誤解は覆すことができました。利用者は、介護サービスや医療を必要に応じて選択しながら生活をする事ができたと思っています。

もちろんなかには、たとえば、認知症が進行した方など、どうしても24時間介護が必要だと思われた入居者は、2階のグループホームへ住み替えをしました。他の施設に移られた入居者もいました。

様々なニーズに応えることのできる、施設サービスが地域にあることが、老後の生き方を豊かにすると、私たちは信じているのです。

[続報リクエスト](#)[マイリストに追加](#)

以下の記事がお勧めです

- > [里村 佳子氏のバックナンバー](#)
- > [チーズの名称が通商交渉の焦点だった理由](#)
- > [1階にカフェを作り、お祭りも](#)
- > [南北対話、パラリンピック後までのつかのまの緊張緩和に](#)
- > [5年後、HIS は電力会社になっているかも](#)

[プロフィール](#)[最近の投稿](#)

里村 佳子( 社会福祉法人呉ハレルヤ会呉ベタニアホーム統括施設長 )



法政大学大学院イノベーションマネジメント（MBA）卒業、広島国際大学臨床教授、前法政大学大学院客員教授、広島県認知症介護指導者、広島県精神医療審査会委員、呉市介護認定審査会委員。ケアハウス、デイサービス、サービス付高齢者住宅、小規模多機能ホーム、グループホーム、居宅介護事業所などの複数施設の担当理事。今年10月に東京都杉並区の荻窪で訪問看護ステーション「ユアネーム」を開設。

News Socraは、記者30年、新聞協会賞受賞の元日経新聞の土屋直也が編集長をしています。ネットで本当のジャーナリズムを盛り上げたいと思い、ベテランライターによる独自記事とセレクト記事を掲載しています。

[トップへ](#)

アプリでもご覧になれます



いいね! 0

シェア 0

ツイート

G+

LINEで送る

[この記事編集](#)

- ソクラとは [FAQ](#)
- 編集長プロフィール [利用規約](#)
- 利用案内 [プライバシーポリシー](#)
- 著作権について [特定商取引法に基づく表示](#)
- メイキングソクラ [お問い合わせ](#)
- お知らせ一覧 [コラムニストプロフィール](#)

Copyright © News Socra, Ltd. All rights reserved